

麓山の杜 みどり通信

発行元 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

【出生に伴う記念樹交付の終了について】

郡山市にお住まいで、お子さんが生まれた方に記念樹として樹木の苗木を1本プレゼントしていましたが、平成25年度をもって終了しました。対象となる方で希望される場合は、申請期間内に申請されるようお知らせします。

プレゼント対象者 郡山市にお住まいの方で、平成26年3月31日までに出産した方。

申請方法 申請書に添付して提出してください。（出生届の写しまたは母子手帳の写し）

申請期間 出産後1年以内

申請窓口 ・21世紀記念公園 麓山の杜 024-924-2194

・郡山カルチャーパーク 024-947-1600

・郡山市都市整備部公園緑地課 024-924-2361 ・各行政センター



ガーデニングポイント

【水やり】 落葉樹もあと一か月は葉がついていきますので、水はどのような樹種でもまだ必要です。雨が少ない時には、夏ほどではありませんがどっぷりとあげます。日中でも大丈夫です。特に植え替えた場合は、土の乾燥具合を確認します。また鉢植えの場合は、すぐに乾燥してしまう為こまめに灌水が必要です。**根元を腐葉土などでマルチングをして乾燥を防ぎます。**あげ方のポイントは、**乾いてきたら樹冠全体にもたっぷり**あげます。葉の表面の汚れや病害虫を洗い流す効果もあります。土壌条件が適さないと、いくら水をあげても根に届かず、すぐ乾いてしまって枯れる原因にもなります。**水の量は、地中深く根に届くまでどっぷりとあげます。**

【肥料】 草花を植え付ける場合は元肥として、生育を続けさせる場合は追肥として、肥料が必要になります。樹木の場合は、多くの種類では必要はありません。ポタンは、秋が植え替えの適期ですからその時に元肥、または追肥として有機質肥料をあげます。

【病害虫防除】 めっきり涼しくなり病害虫は少なくなってきましたが、居なくなったわけではなく、害虫は多くが幼虫や卵で越冬します。

みどり通信も100号になりました。

卵かい（卵のかたまり）をみつけて、へらなどで取り除いておくと来年の発生が少なくなります。春に発生するマイマイガには効果があります。イラガは、固い繭を取り除いておきます。マツカレハは、幼虫が混み合っている枝や樹皮に隠れて越冬します。食害されると葉先が茶色に変色しています。幼齢のうちに退治しておくのが肝心です。病気は、予防が一番です。病原菌は落ち葉などでも越冬しますので、綺麗に掃き集めて処分します。カイガラムシは続けて発生して、すす病を併発し美観上も酷い状態になっています。山林や庭のマツが急に赤くなる、マツノザイセンチュウが原因の松枯れが見受けられます。罹患したものは、殆どが年内に枯れてしまいます。変色してからの対応策はありませんので、日頃から樹勢が衰えないように管理する事が肝要です。

モミジやドウダンツツジなどで、あまりにも早く紅葉したり落葉したりする場合があります。その場合は、根腐れによる根の異常やカミキリムシなどの穿孔性害虫による衰退が疑われます。雑草を抑える事や混み合っている枝を透かして風通しを良くしておきます。ただし除草剤の散布は行わないのがベストです。病害虫の予防は日頃からよく観察してその異常を早く見つける事です。

【剪定】先月から引き続き常緑樹は、剪定後の萌芽が弱くなります。また、サザンカやツバキをはじめ多くの樹種で開花し、また蕾や花芽が出ています。その事から強い剪定は、極力避けるべきです。モクセイは、開花し香りを放っています。郡山では、冬の寒さを考慮して開花後の剪定を行わず、来春まで待ちます。園芸の雑誌で開花後に行うように書いてありますが、その地域の冬の温度を考えなければなりません。ツツジ類は、夏以降に剪定すると来年は殆ど花が咲きません。チャボヒバなどの針葉樹も、これからの刈込剪定はその後の萌芽が悪い為に弱ってしまいます。マツ類は、今年伸びた枝は途中で切らないようにします。切ってしまうとそこからの芽が吹かず、その枝が枯れてしまう事があります。特にアカマツは注意してください。来年の芽を大事に残して置くよう

にします。古葉や混みあっている葉は、霜が降りるようになった頃にむしり取ります。これをもみあげと言います。落葉樹は、落葉後から強い剪定が可能になります。特にモミジ類は、落葉後が適期になります。遅くなると切り口から樹液が流れ出て、樹勢を弱めてしまいます。ハナミズキやヤマボウシは、来年の蕾がありますので、切り落とさないようにします。樹種によりその時期に応じた剪定の強弱をつけて行います。美観だけを目的に剪定をするのではなく、「樹木は生き物」という概念を忘れてはいけません。この時期にたくさん陽を浴びて光合成をして、養分を蓄え厳しい冬を乗り切るのです。

【植え替え】常緑樹の移植は、早く終わらせます。落葉樹は、落葉後が適期です。針葉樹の移植は、失敗しやすい難しい時期です。霜が降りる頃まで、待ちます。ただし、灌水は忘れずに行います。

【みどりのイベント】		※みどり講習会は、10:00~12:00開催 樹木医の先生がお答え致します。	
開催日時	教室名	内容	定員
10月13日(月) 10:00~15:00	記念樹交付及び みどり講習会	・記念樹の育て方初歩講座（季節の管理ポイント） ・落葉樹の剪定	・記念樹申請者 ・受講希望者 無料

これは何？

右の写真はノムラモミジです。晩秋には鮮やかな紅葉を見せてくれます。写真の中央に写っている物が解りますか？葉の裏に付いている緑色した繭です。ヤママユガ科のウスタビガの繭です。ヤマカマスと呼ばれたりします。緑色した絹糸がとれる天蚕と呼ばれるヤママユとは違います。落葉後はその緑色した繭が目立ちます。



街で見かけた植物



コムラサキ【クマツツラ科ムラサキシキブ属】 別名：コシキブ

落葉広葉低木でムラサキシキブをひとまわり小さくしたような形状をしています。細い枝に鮮やかな紫の実が枝垂れるほどにつけます。ムラサキシキブより庭植えに適し利用されています。落葉後もその紫の実が冬の庭で目立ちます。仲間には白い実をつけるシロシキブもあります。丈夫で育ちも良く株立ち状になります。ただ地際が混み過ぎてボクトウガやコウモリガなどの被害がみられます。また古くなった幹からは実のつきが悪くなるので根元から剪定をします。若い幹を残し株立ち状にして管理します。